



飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画

地域アクションプランの平成29年度の進捗状況等と平成30年度の展開

■地域アクションプランの平成29年度の進捗状況等

1. 平成29年度の主な成果 1
2. 各地域の主な動き 2

■地域アクションプランの平成30年度の展開

1. 地域アクションプランの動向 12
2. 地域アクションプランの追加項目 13
3. 地域アクションプランの削除項目 14

地域アクションプランの平成29年度の進捗状況等

1 平成29年度の主な成果

◆これまでの取り組みを土台に、各取り組みがさらにステージアップ

◆幕末維新博と連動した地域主体の観光振興の取り組みや、「地産外商」のさらなる拡大に向けた取り組みが活発化。観光地の再整備や職人育成などの新たな取り組みも始動。

【地産外商がさらに活発化、拡大再生産の動きも拡大】

- 需要拡大に伴い、ウルメイワシの加工品やカット野菜、土佐はちきん地鶏、ヤギミルク等の生産拡大の取り組みが活発化。
- 柑橘類やイタドリ、栗など、地域産品のブランド化と産地拡大の取り組みが進展。
- 商談会への出展等により、国内外での外商が拡大。さらなる拡大に向け、生産管理の高度化の取り組みが進み、県版 HACCP第3ステージ認証を取得した事業者も増加。また、地域商社による地域産品の国内外の販路開拓も活発化。

【地域が主体となった観光振興の取り組みがさらに進む】

- 各地域において、広域観光組織を核とする観光人材の育成や旅行商品の造成などがさらに進展。龍河洞など、観光地の再整備に向けたプロジェクトも動き出す。
- 「志国高知 幕末維新博」と連動した、歴史資源の磨き上げや観光クラスターの形成が各地で進み、地域会場における来場者数が大幅に増加。
- 豊かな自然を活かしたアウトドア拠点やスポーツ拠点の整備が進むとともに、自然体験型観光商品の造成やスポーツ合宿の誘致など取り組みが活発化。

【地域における連携・協働、クラスター化により、経済効果が波及。職人育成の取り組みも進む】

- 地域産品の販売拠点となる直販所や道の駅がさらに充実。地元商店街や周辺の観光施設等と連携した販わいの創出の取り組みが進められている。
- 地域アクションプランにおいて、集落活動センターの経済活動とリンクした取り組みが進展。
(集落活動センターにおける観光客への昼食や体験メニューの提供等)
- H28からスタートした地域産業クラスターについては、各プロジェクトのプランづくりが着実に進み、地域アクションプランの面からも、プランの具体化を後押し。
- 完全天日塩の職人を育成する研修施設が整備されたほか、土佐打刃物や土佐和紙でも担い手育成の計画づくりが進む。

■地域アクションプラン数

	安芸	物部川	高知市	嶺北	仁淀川	高幡	幡多	計
H29当初	32	26	30	23	37	42	48	238
追加		1			1	1		3
H29最終	32	27	30	23	38	43		241
追加				1			1	2
削除	▲1 (統合)	▲1			▲1	▲2	▲2	▲7
H30当初	31	26	30	24	37	41	47	236

■地域アクションプランの主な支援策の活用状況（平成29年度） ※H30.3月末見込み

- ・産振総合補助金 13事業 総事業費1,034,981千円（県補助金額279,534千円）
- ・産業振興アドバイザー事業 採択件数41件、指導・助言回数112回

■主な成果

- ・地域アクションプランによる雇用の創出（平成29年度見込） 156人（うち産振総合補助金導入事業関連62人）
- ・H21～27年度に産振総合補助金を活用した事業の売上の増加額（各事業における補助金の活用前とH28売上実績の差の計） 64.6億円

2 各地域の主な動き

仁淀川地域

宇佐の一本釣りうるめいわしの加工品やカット野菜、地乳製品の需要拡大に伴い、生産体制の強化が図られ、衛生管理の高度化に向けた取り組みも進んでいる。

林業分野では、大型製材工場の順調な稼働により原木増産と安定確保に向けた取り組みが進んでいる。

観光分野では、アウトドアの拠点となるキャンプ場や酒造会社の製造工場の整備など、インバウンドも視野に入れた取り組みが進んでいる。

また、「志国高知 幕末維新博」の地域会場となる、紙の博物館や青山文庫では企画展の開催などにより、集客が順調に増加している。

高幡地域

四万十町森林組合の集成材製品の展示・商談施設が平成30年3月にオープンしたことにより、外商活動の強化と売上げ増加に向けた体制が整う。

農業分野では、四万十ポークの加工施設・直販所の稼働に加え、畜舎の補改修など、生産・加工体制の強化と衛生管理の高度化に向けた取り組みが進んでいる。

平成29年7月にオープンした「道の駅なかとさ」は順調に売上げを伸ばしており、周辺の地元商店街等と連携した町全体の賑わいの創出に向けた取り組みが進んでいる。

観光分野では、浦ノ内湾での海洋スポーツ施設の整備に併せて、スポーツ大会の開催や体験型観光、国内外のカヌーチームの合宿誘致など海洋スポーツの拠点としての取り組みが進んでいる。

幡多地域

農業分野では、柑橘の産地化やブランド化を目指し、作付面積の拡大や、販路拡大等の体制づくりなどが着実に進んでおり、畜産でも新たなブランド化に向けた取組が開始された。

水産業分野では、積極的な外商活動の展開や、県内外の飲食事業者等との連携強化が進み、着実に売上げを伸ばし、雇用の創出にもつながっている。

また、メジカや養殖マグロといった地域の強みを活かした、漁業者や多様な事業者による地域産業クラスターの形成を目指す取り組みも進んでいる。さらに、地域の魅力的な素材を活かした加工品づくりや、その販路拡大の取り組みも順調に進んでいる。

観光分野では、地域内の様々な施設を活用したスポーツツーリズムの取り組みが進むとともに、今後様々な施設整備が予定されている竜串地区では、観光クラスター形成に向けた取り組みが開始されている。

土佐あかうしの増頭対策や、大川黒牛、土佐はちきん地鶏の生産拡大に向けた体制強化を図るとともに、土佐はちきん地鶏の付加価値向上のため、HACCP対応の食鳥処理・加工施設を整備・稼働し、首都圏等での営業活動に取り組んでいる。

観光分野では、県外企業との協働によるアウトドア拠点施設の整備に向けた取り組みや民泊誘致の体制づくり等が着実に進んでいる。また、さめうら湖を活用したカヌーのまちづくりを進め、嶺北高校の魅力化も含めた地域の活性化や合宿誘致などの交流人口拡大につながる取り組みを行っている。

集落活動センターでは、スギのコンテナ苗の栽培や、森の教習所による研修事業の実施といった経済活動が行われている。

嶺北地域

地域の基幹品目であるシントウやニラの生産拡大と品質向上や還元水を活用した野菜の生産拡大やブランド化、ヤギミルクの増産の取り組みが進んでいる。

また、南国市ものづくりサポートセンターを核とした中心市街地活性化の取り組みやチャレンジショップなどの商店街活性化に向けた取り組みが進んでいる。

観光分野では、物部川流域3市の観光関係者等で組織する物部川DMO協議会の組織体制が強化され、人口交流拡大に向けた取り組みが行われているほか、龍河洞や三宝山をはじめとする観光拠点の活性化に向けた取り組みが進んでいる。

物部川地域

安芸地域

ユズのEUへの青果輸出が定着するとともに、青果果の生産拡大と品質向上に向けた新植・改植の取り組みが進んでいる。

奈半利町では特産品の開発に取り組み、主にふるさと納税返礼品として販売額を伸ばしている。また、キラメッセ室戸「楽市」においても特産品の開発・発売などにより、売上高を順調に伸ばしている。

観光分野では、「志国高知 幕末維新博」の地域会場となる室戸世界ジオパークセンター等の磨き上げや、平成29年4月に日本遺産に認定された、魚梁瀬森林鉄道遺産等を核とした観光地づくりが進んでいる。

高知市地域

イタダリのブランド化に向け、栽培産地の拡大とともに食品メーカー等との連携による販路拡大の取り組みが進んでいる。

また、地域農産物の加工施設の拡充後、弁当・総菜などの販売が順調に伸びているほか、竹を活用した産業の集積も進んでいる。

観光分野では、大型クルーズ客船の寄港等により増加する外国人観光客の受入体制が強化されたほか、日曜市では、出店基準の緩和により新たな事業者が出店するなど、高知市中心部の魅力向上が図られている。

また、歴史資源の磨き上げや浦戸湾を周遊する観光遊覧船の運航体制の強化、体験型旅行商品の充実など、国内外からの観光客の満足度をさらに高める取り組みが進んでいる。

地産地消・地産外商（ブランド化、アンテナショップ）

四万十ぶしゅかん産地の形成とブランド化事業

ぶしゅかん

【四万十市】
 <四万十市、四万十ぶしゅかん生産者組合、四万十ぶしゅかん(株)>

取り組みの内容

- ・苗木への補助、幼木の管理技術指導
- ・独自の栽培手法の検討
- ・商談会への出展や、首都圏での認知度向上キャンペーンの実施
- ・集荷搾汁施設の稼動 (H29.8月)

今後の方向性

- ・生産者の生産技術、ノウハウの習得
- ・ブランドの確立に向けた販売戦略の構築
- ・ぶしゅかんの認知度の向上
- ・生産コストの削減、衛生管理体制の強化

主な成果

- ・栽培面積
720a (H28) → 977a (H29)



観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化

観光交流施設「南風」

【土佐市】

<土佐市、特定非営利活動法人新居を元気にする会>

取り組みの内容

- ・イベント等への出展
- ・レンタサイクル運用開始
- ・敷地内に海鮮BBQ「土佐のかき小屋」オープン (H29.4月)
- ・南風内の3テナントが連携した事業の実施

今後の方向性

- ・さらなる交流人口拡大の仕組みづくり (高知新港の客船へのPR、観光体験メニューの提供等)
- ・直販所、カフェの安定的な運営 (出品数増加、店舗の魅力向上等)

主な成果

- ・施設来客者数
70,937人 (H28)
→ 119,167人 (H29.2月末現在)
- ・直販所の販売額
28,364千円 (H28)
→ 32,540千円 (H29.2月末現在)



キラメッセ室戸「楽市」の機能強化

キラメッセ室戸「楽市」

【室戸市】

<室戸市>

取り組みの内容

- ・新たな加工品の開発
- ・県外の店舗・アンテナショップへの野菜等の出荷

今後の方向性

- ・農業の6次産業化の推進
- ・販路拡大と集荷体制の整備

主な成果

- ・来場者数
246,958人 (H27)
→ 254,754人 (H29見込)
- ・販売額
364,127千円 (H28) → 382,686千円 (H29見込)



中土佐町SEAプロジェクト

道の駅「なかとさ」

【中土佐町】

<(株)SEAプロジェクト、中土佐町>

取り組みの内容

- ・道の駅「なかとさ」がオープン (H29.7月)
- ・来場者25万人達成 (H30.3月)
- ・イベント等の開催

主な成果

- ・売上額
0円 (H28) → 246,224千円 (H30.1月末現在)
- ・雇用の創出 55人 (うち長期53人、短期2人)

今後の方向性

- ・町全体の賑わいの創出に繋がる仕組みづくり
- ・地元施設との連携による相乗効果の発揮



還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化

還元野菜

【南国市】

<JA南国市、(株)南国スタイル、(株)トリムエレクトリックマシナリー、高知大学>

取り組みの内容

- ・次世代型ハウスでパプリカ、ピーマンの本格生産開始
- ・パプリカパウダーの試作 (市内飲食店へ試験提供)
- ・直販所に「還元野菜コーナー」を設置
- ・還元野菜セットの販売

今後の方向性

- ・還元野菜セットの販売の拡大
- ・地元飲食店等へ「還元野菜」の供給

主な成果

- ・還元野菜の販売額
0円 (H28)
→ 1,175千円 (H30.2月末時点)
- ・雇用の創出 2人 (長期2人)



加工品販売による夜須地域の活性化

やすらぎ市

【香南市】

<協同組合やすらぎ市>

取り組みの内容

- ・生産販売計画の検討及び販売実績の分析
- ・既存商品の改良及び新商品の開発・販売 (13アイテム)
- ・加工技術の習得に向けた講習会の開催

今後の方向性

- ・各種アドバイザーの活用による加工技術及び商品開発力の向上

主な成果

- ・加工品販売額
0.79億円 (H29.1月末現在)
→ 0.81億円 (H30.1月末)
- ・雇用の創出 1人 (長期1人)



道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組

道の駅「田野駅屋」

【田野町】

<田野町、田野駅屋連>

取り組みの内容

- ・県外の店舗等への野菜の出荷
- ・イベント開催、出店等による販促活動
- ・観光情報発信

主な成果

- ・入込客数 272,835人 (H28)
→ 273,536人 (H29)
- ・売上高 319,170千円 (H28)
→ 367,094千円 (H29)

今後の方向性

- ・生産者の確保及び商品の充実
- ・直販・飲食機能の強化
- ・施設・敷地の狭隘への対応
- ・情報発信機能の強化



JA土佐くろしおが担う地域農業の活性化

【須崎市、津野町、中土佐町】

とさっ子広場 <JA土佐くろしお>

取り組みの内容

- ・各種イベントの開催
- ・出荷者研修会の開催

主な成果

- ・直販所の販売額
235,367千円(H28)
→ 305,000千円(H29見込)

今後の方向性

- ・月別売上分析に基づく計画出荷と出荷拡大
- ・直販所で製造する総菜の充実



ユズを中心とした中山間振興 【室戸市、安芸市、奈半利町、
宇野町、安田町、北川村、馬路村】

ユズ <JA土佐あき、
JA馬路村>

取り組みの内容

- <JA土佐あき>
- ・青果の生産拡大と果実品質向上のための新植・改植の推進
- ・EU向け輸出青果の腐敗果対策として、早期収穫とコールドチェーンを実施
- ・国内外への積極的な販路の開拓
- <JA馬路村>
- ・ポン酢や化粧品等の加工品充填設備の整備(H29)



主な成果

- ・雇用の創出 2人(短期2人)
- <JA土佐あき>
- ・青果出荷受入量
337t(H27) → 343t(H29)
- ・フランス等EU諸国に6年連続で青果を輸出
青果輸出量 4t(H28) → 8t(H29)
- <JA馬路村>
- ・高知市内アンテナ店売上高
3,910万円(H28)
→ 4,770万円(H29)

今後の方向性

- ・安定生産に向けた新植、改植の推進
- ・ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓
(JA土佐あき、JA馬路村)

ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業 【南国市】

ヤギミルク

<川添ヤギ牧場>

取り組みの内容

- ・ひまわり乳業(株)から飲料用ヤギミルクを販売
- ・新畜舎の稼働(H29.4月)
- ・パート職員の正職員化(1名)
- ・ヤギ肉の販売開始

今後の方向性

- ・飼育頭数の増によるヤギミルクの生産拡大
- ・ひまわり乳業(株)と連携したヤギミルクの販路拡大
- ・ヤギ肉の販路開拓

主な成果

- ・売上高
3,448千円(H28)
→ 5,339千円(H29)
- ・ヤギ飼育頭数
90頭(H29.2月末現在)
→ 150頭(H30.2月末現在)



三原村ユズ産地化計画の推進事業

【三原村】

ユズ <(公財)三原村農業公社等>

取り組みの内容

- ・ユズの生産拡大
- ・研修生の受入
- ・選果・搾汁施設の稼働(H28)
- ・新商品の開発
- ・ユズ園の造成工事

主な成果

- ・青果率
20.8%(H28) → 24.0%(H29)
- ・栽培面積
45ha(H28) → 52ha(H29)

今後の方向性

- ・新規就農者の確保と育成
- ・県版HACCP取得等、衛生管理体制の強化
- ・集落活動センターとの連携強化
- ・ユズ加工品の磨き上げと販売促進



地産地消・地産外商（農産加工）

イタダリの外商推進による中山間地域の振興

【高知市】

イタドリ

<高知県食品工業団地事業協同組合、連携農家>

取り組みの内容

- ・JA高知市鏡支所イタドリ部会の設置
- ・イタドリ栽培に係る講習会の開催
- ・県内各地域への鏡産イタドリ苗の販売
- ・県内外で開催される展示会等への出展

主な成果

- ・鏡産イタドリ苗の販売地域 23地域

今後の方向性

- ・高品質イタダリの県内栽培産地の拡大
- ・各産地における一次加工体制の強化
- ・首都圏等に向けた販路の拡大



「食」の提供による地域農産物の消費拡大

【高知市】

地域農産物の消費拡大

<JA高知市、JA高知市女性部 >

取り組みの内容

- ・農家レストランの開催
- ・アドバイザー活用による新メニュー等の開発
- ・高知市内の直販所で連携したスタンプラリーの実施

主な成果

- ・直販所販売額
82,202千円(H28) → 85,366円(H29)
- ・地産地消等優良活動表彰にて、中四国農政局長賞受賞(直販部会なるクラブ)
- ・雇用の創出 2人(長期2人)

今後の方向性

- ・魅力ある店舗づくり
- ・商品の品揃えの強化



土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興

【本山町、大豊町、土佐町】

土佐あかうしの生産基地 <JA土佐れいほく、(株)れいほく未来等>

取り組みの内容

- ・繁殖雌牛及び肥育牛の増頭
- ・育成技術の向上
- ・堆肥舎の完成(H29.7月)

今後の方向性

- ・繁殖雌牛及び肥育牛のさらなる増頭
- ・繁殖から肥育までの一貫した生産管理の徹底
- ・堆肥の活用

主な成果

- ・(株)れいほく未来の飼養頭数
177頭(H28)
→ 241頭(H30.2月末現在)



ユズ産地の確立と加工・販売の促進

【本山町、大豊町、土佐町】

<嶺北地域果樹(ゆず)産地協議会、JA土佐れいほく>

ユズ

取り組みの内容

- ・栽培講習会の開催
- ・各種商談会への参加
- ・青果の海外輸出

今後の方向性

- ・青果の生産拡大と加工品生産体制の強化
- ・加工品の販促活動の強化
- ・輸出の拡大

主な成果

- ・ユズ加工品の販売額
2.2億円(H29.1月末現在)
→ 3.2億円(H30.1月末現在)



(株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大

【仁淀川町】

カット野菜等の加工品 <(株)フードプラン>

取り組みの内容

- ・新工場の整備(H30.3月)
- ・県版HACCP(第2ステージ)認証の取得
- ・県産野菜等を活用した加工品の開発

今後の方向性

- ・新工場での生産強化
- ・県産野菜の安定調達に向けた仕組みづくり
- ・関連企業や団体と連携した地域産業クラスターの形成

主な成果

- ・売上高 5.6億円(H28) → 6.2億円(H29)
- ・雇用の創出 12人(長期12人)



地域産品を活用した冷菓等の製造販売

【いの町】

アイスクリーム、シャーベット、ドリンク <(有)高知アイス>

今後の方向性

- ・国内外での販路拡大に向けた営業力の強化
- ・新商品の開発(ドリンク・最中アイス等)

取り組みの内容

- ・生産設備の拡充(H29)
- ・直営売店の改修(H29)
- ・県版HACCP(第3ステージ)認証の取得(H28)
- ・国内外の商談会等へ出展

主な成果

- ・売上高(全体)
4.13億円(H28) → 4.75億円(H29)
- ・うち、国内市場での売上高
3.20億円(H28) → 3.86億円(H29)



土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化

【大川村】

土佐はちきん地鶏 <(株)むらびと本舗、(一社)大川村ふるさとむら公社等>

取り組みの内容

- ・食鳥処理・加工施設の整備(H29.8月)
- ・県版HACCP認証(第3ステージ)の取得
- ・首都圏での販売強化

今後の方向性

- ・村内施設での食鳥処理及び加工品の生産
- ・首都圏等での営業活動の強化
- ・堆肥の有効活用

主な成果

- ・新規取引先
30社 累計132社(H29)
- ・土佐はちきん地鶏の出荷羽数
5.1万羽(H29.1月末現在) → 5.8万羽(H30.1月末現在)



仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進

【仁淀川町】

沢渡茶

<(株)ビバ沢渡>

取り組みの内容

- ・茶の振興を目的として拠点施設(カフェ)をオープン(H30.3月)
- ・拠点施設での地域産品の販売や観光情報の発信
- ・商談会への出展

今後の方向性

- ・拠点施設を中心にした加工品の販売拡大
- ・茶をはじめとした農業の後継者確保

主な成果

- ・販売額 27,269千円(H28)
→ 29,126千円(H29)
- ・雇用の創出
8人(うち長期1人、短期7人)



四万十のうまい豚プロジェクト

【四万十町】

四万十ポーク <(農)四国デュロックファーム、(農)平野協同畜産>

取り組みの内容

- <(農)四国デュロックファーム>
- ・自社生産の豚肉を活用した加工品の製造・販売
- ・加工直販所及び豚バル(高知市内飲食店)のオープン(H28)
- <(農)平野協同畜産>
- ・豚舎の新築による生産拡大(H29.5月)
- ・農場HACCP推進農場に指定(県内初)

主な成果

- <(農)四国デュロックファーム>
- ・加工直販所の売上高
56,602千円(H29.1月末現在)
→ 61,712千円(H30.1月末現在)
- <(農)平野協同畜産>
- ・母豚数 427頭(H29.2月末現在)
→ 489頭(H30.2月末現在)
- ・出荷頭数
7,051頭(H29.1月末現在) → 7,171頭(H30.1月末現在)

今後の方向性

- ・営業活動等による販路の拡大
- ・年間出荷頭数の増加
- ・衛生管理と生産体制の向上



つこの茶販売戦略

【津野町】

つこの茶

<JA津野山、津野町>

取り組みの内容

- ・大手企業と協定締結及び交流イベント実施
- ・商談会への出展

主な成果

- ・第53回高知県茶品評会で上位5位まで津野町生産者が独占受賞
- ・かぶせ茶生産面積の拡大
0.65ha(H28) → 0.75ha(H29)
- ・茶製品販売額
22,450千円(H29.1月末現在)
→ 23,594千円(H30.1月末現在)

今後の方向性

- ・商談会への出展等による販路拡大



梶原産キジ肉の生産・販売の拡大

【梶原町】

梶原キジ

<梶原町雉生産組合・梶原町>

取り組みの内容

- ・商談会への参加
- ・イベント等への出展
- ・アドバイザーによる熟成等の指導

主な成果

- ・販売額
14,773千円(H27)
→ 16,500千円(H29見込)

今後の方向性

- ・商談会への参加等による販路拡大
- ・サンプル提供先の感想・意見を踏まえた商品の改善



葉にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大

【須崎市】

葉ニンニク加工品

<(株)アースエイド>

取り組みの内容

- ・展示商談会等への参加
- ・新規取引先の開拓

主な成果

- ・売上高 35,290千円(H28)
→ 77,218千円(H30.2月末現在)

今後の方向性

- ・ターゲットを意識したブランディングや広報戦略の展開



栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト推進事業

四万十の栗

<(株)しまんと美野里>

【四万十市】

取り組みの内容

- ・四万十産の栗を活用した加工品の製造・販売
- ・イベント等への出店
- ・遊休施設を活用した焼き栗販売所のオープン(H29.8月)

今後の方向性

- ・道の駅を中心とした販売促進及びPR



主な成果

- ・売上高
12,940千円(H28.12月末現在)
→ 14,203千円(H29.12月末現在)

長期肥育鶏の生産加工・流通体制確立事業【土佐清水市】

長期肥育鶏

<(株)足摺農園、土佐清水市>

取り組みの内容

- ・関西方面及び市内の販路開拓
- ・ブランド名を「土佐極鶏あしずりキング」に決定
- ・試験肥育及び加工の実施
- ・出荷用の鶏の肥育開始
- ・飲食事業者向けの試食会を開催
- ・加工処理施設の整備(H30.3月)

今後の方向性

- ・加工処理体制の確立(研修によるノウハウ取得)
- ・販売予定先と協議をすすめ、販路確保
- ・ブランド化協議会の設立



主な成果

- ・雇用の創出 1人(長期1人)

地産地消・地産外商(林産加工)

「四万十ヒノキ」をはじめとする地域森林資源の販売促進

【中土佐町、四万十町】

四万十ヒノキ

<四万十町森林組合、須崎市森林組合 他>

取り組みの内容

- ・原木生産の増産
- ・集成材工場の売り上げ拡大
- ・集成材工場展示場のオープン(H30.3月)
- ・展示場を活用した商談の実施

今後の方向性

- ・展示場を活用した外商活動の強化
- ・新規バイヤー獲得に向けた産地商談会の開催

主な成果

- ・集成材工場の売上高
2.6億円(H28)
→ 3.0億円(H30.2月末現在)
- ・雇用の創出
1人(長期1人)



れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進及び建築人材の育成

【嶺北地域全域】

れいほくスケルトン

<(株)SUN SHOW、レイホク木材工業(協)、吉野川リビング(協)等>

取り組みの内容

- ・四国内(香川県中心)における販売活動
- ・イベントへの出展(かがわ家博、ウッドフェスティバル)

今後の方向性

- ・エンドユーザーや建築士等に対する嶺北材のPR強化
- ・香川県への販売活動の強化

主な成果

- ・木材の出荷量
585㎡ 23棟(H28)
→ 1,031㎡ 43棟
(H30.2月末現在)



町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業

【大月町】

土佐備長炭

<大月町備長炭生産組合>

取り組みの内容

- ・備長炭生産の研修生受け入れ
- ・原木搬出作業道の整備
- ・こうち山の日推進事業でウバメガシの植樹の実施

今後の方向性

- ・生産量の安定と技術向上
- ・原木の安定確保に向けた関係先との調整

主な成果

販売額
49,727千円(H28)
→ 55,000千円(H29見込)



仁淀川流域における林業・木材産業の振興

【仁淀川流域全域】

原木生産の増産及び安定供給

<森林組合、林業事業体、製材業者、自伐林家等>

取り組みの内容

- ・森林経営計画の策定
- ・流域全体で生産・流通システムの構築
- ・高吾北地域林業成長産業化地域創生モデル事業の推進

今後の方向性

- ・流域全体の生産・流通を一元的に管理する仕組みの構築
- ・作業工程の効率化
- ・路網整備の推進

主な成果

- ・原木生産量の増加
9.1万^m (H28)
→ 9.7万^m (H29見込)
- ・製材工場原木利用量
1.7万^m (H28)
→ 2.7万^m (H29見込)



土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化

【東洋町、室戸市】

土佐備長炭

<土佐備長炭生産組合、室戸市木炭振興会等>

取り組みの内容

- ・製炭窯の整備開始(4基)
- ・備長炭生産者の育成

主な成果

- ・生産者の増加 3人

今後の方向性

- ・共同利用窯の増設
- ・量産体制の強化
- ・人材の育成



竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出

【高知市】

竹産業クラスター

<(同)高知竹材センター、(株)コスモ工房>

取り組みの内容

- ・竹製自動車ハンドルの素材や竹シート・ブラシ等の製造
- ・竹材の収量確保に向けた買い取り方法の変更

主な成果

- ・雇用の創出 5人(長期5人)

今後の方向性

- ・竹産業の集積に向けた竹の供給体制の強化
- ・市場ニーズを踏まえた新たな分野への販路の開拓



地産地消・地産外商（水産加工）

宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業

【宿毛市】

宿毛近海の水産資源

<(株)沖の島水産>

取り組みの内容

- ・系列飲食店新規開店
- ・新加工施設の整備
- ・県外商談会、展示会等への参加

今後の方向性

- ・通信販売(ネット、DM等)等の強化による販路拡大
- ・県版HACCP認証の取得等による衛生管理の強化

主な成果

- ・売上高
4.18億円(H28)
→ 4.60億円(H29見込)
- ・雇用の創出
3人(長期3人)



宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売事業

【宿毛市】

宿毛湾の養殖魚

<(株)勇進>

取り組みの内容

- ・県内外の商談会等への出展
- ・外食関連事業者への販促活動の強化
- ・新商品の開発

主な成果

- ・売上高
0.94億円(H28)
→ 1.09億円(H29.5~H30.3月末現在見込)

今後の方向性

- ・衛生管理体制の強化(県版HACCP認証の取得)
- ・新規取引先の開拓
- ・加工部門の責任者、経理等の人材育成の強化



土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト

【土佐清水市】

メジカプロジェクト

<土佐清水ホールディングス(株)、土佐清水市等>

取り組みの内容

- ・メジカプロジェクト推進協議会の設立
- ・原魚確保体制の確立
- ・認知度向上に向けた取り組みの協議
- ・新たな主力商品の開発

主な成果

- ・メジカ漁師の研修生受け入れ 3人
- ・宗田節ロードへの参加店舗数
11店舗(H28) → 21店舗(H29)

今後の方向性

- ・推進協議会を核にしたハード・ソフト事業の推進
- ・新商品の製造及び販路拡大
- ・主力商品を核にしたプロモーションの展開



魅力のある観光

北川村観光3施設による誘客効果による交流人口の拡大

北川村観光施設

【北川村】

＜北川村、北川村観光協会、(株)きたがわジャ
ルダン、NPO法人中岡慎太郎先生顕彰会＞

取り組みの内容

- ・カフェ「モネの家」リニューアルオープン(H29.4月)
- ・中岡慎太郎館の外国人旅行者受入環境の整備(H29)
- ・幕末維新博に連動した企画展「クロード・モネ&中岡慎太郎 幕末維新博外伝」の実施(H29)

主な成果

- ・モネの庭マルモッタン 入園者数
63,377人(H28)→74,700人(H29)
- ・中岡慎太郎館 入館者数
6,260人(H28)→9,925人(H29見込)



今後の方向性

- ・北川村温泉(H30.6月オープン予定)を含めた村内3施設の連携強化
- ・ゆずの収穫等の体験プログラムの充実
- ・北川村の知名度向上に向けたプロモーション活動

龍河洞活性化推進プロジェクト

【香美市】

龍河洞

＜龍河洞エリア活性化協議会、(公材)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい、香美市＞

取り組みの内容

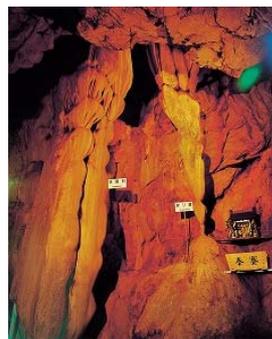
- ・「龍河洞まちづくり協議会」の設立
- ・「龍河洞エリア活性化基本計画」の策定
- ・龍河洞のプロモーションを担う「(株)龍河洞みらい」の設立
- ・シーズンイベントの開催
「Hello! in龍河洞」(1,840人)
「ハートの洞窟を探索せよ」(2,184人)

主な成果

- ・官民一体となった龍河洞エリア活性化の推進体制確立

今後の方向性

- ・基本計画の円滑な実行と進捗管理
- ・マーケティングに基づく集客施策の実行



近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進

【高知市】

体験型旅行商品(とさ恋ツアー)

＜(株)城西館＞

取り組みの内容

- ・企業等のニーズにあった既存旅行商品の磨き上げ
- ・集落活動センター等を活用した新たな旅行商品の造成

主な成果

- ・利用客数
3,600人(H28)
→ 4,300人(H29見込)

今後の方向性

- ・県内全域でさらなる旅行商品の造成と情報発信



浦戸湾を活用した観光の振興

【高知市】

高知市観光遊覧船

＜土佐レジン＞

取り組みの内容

- ・鏡川クルーズの実施
- ・幕末維新博に合わせた船内アナウンスの充実
- ・フェイスブックや観光情報誌による情報発信

主な成果

- ・遊覧船乗船客数
539人(H28)
→ 1,130人(H29見込)

今後の方向性

- ・利用客のさらなる増加に向けたクルーズ内容の充実及びPRの強化



県民性を活かした外国人観光客受入態勢の充実

【高知市】

外国人観光客への高知流おもてなし

＜高知おせっかい協会＞

取り組みの内容

- ・中心商店街等の店舗におけるメニュー等の多言語化の推進
- ・「外国人観光客に対する接客講座」の開催
- ・大型クルーズ客船寄港時の観光案内

主な成果

- ・おせっかい協会によるニュー等の多言語化店舗数
40店舗(H28)
→ 48店舗(H29見込)
- ・オセッカイ認定者数
151人(H28)
→ 190人(H29見込)



今後の方向性

- ・各店舗における外国人観光客に対する接客レベルの向上
- ・メニューの多言語化店舗数及びオセッカイ認定者数の拡大

広域観光の取組の推進

【物部川地域全域】

物部川流域観光の推進

＜南国市、香南市、香美市、各市の観光協会、物部川DMO協議会、(株)ものべみらい＞

取り組みの内容

- ・PRパンフレット「じゃらん」の作成・配布
- ・「物部川フェスタ2017」の開催(3,700人)
- ・ミキハウス子育て総研から「ウエルカムファミリーの観光地」として物部川エリアが認定(観光地として全国初)

主な成果

- ・観光客入込数
140.2万人(H28)
→ 141.5万人(H29)
- ・雇用の創出
3人(うち長期2人、短期1人)

今後の方向性

- ・子育て世代をターゲットにした誘客の促進
- ・物部川流域内での周遊策の検討・実行



「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化

屋形船仁淀川

＜日高村、(株)屋形船仁淀川＞ 【日高村】

取り組みの内容

- ・新たな屋形船ガイドの募集
- ・ツアー客等へのガイド実践
- ・観光客受入体制の充実のため、仁淀ブルー観光協議会と連携
- ・レンタサイクル運用開始

主な成果

- ・乗船者数 5,276人(H28) → 5,909人(H29)
- ・屋形船ガイド数 5人(H28) → 6人(H29)

今後の方向性

- ・ツアー客や外国人観光客の増加に向けた集客力の向上と情報発信
- ・観光客へのおもてなしの向上(遊覧ガイドの養成・体験メニューの開発等)
- ・地域コミュニティと協調した観光拠点施設(体験交流・飲食・宿泊等)の整備



幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口拡大プロジェクト

【幡多地域全域】

都市部との交流人口の拡大

＜(一社)幡多広域観光協議会＞

取り組みの内容

- ・合宿等専用ポータルサイトの開設
- ・6市町村連携による受入体制づくり及び誘致活動の強化
- ・人工芝整備を活かした誘致活動の強化



主な成果

- ・合宿等受入 8,541人泊(H28) → 10,500人泊(H29見込)

今後の方向性

- ・ポータルサイト等を活用した幡多地域全体への合宿等の誘致促進
- ・体験型観光の受入に向けた集落活動センターなど地域住民との積極的な連携

嶺北地域の連携による交流人口の拡大 【嶺北地域全域】

広域連携による交流人口の拡大

＜嶺北地域観光・交流推進協議会等＞

取り組みの内容

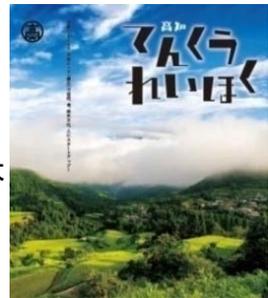
- ・地域博覧会開催に向けた協議
- ・城西館との連携による大手旅行会社ツアーの受入れ
- ・ホームページの作成
- ・民泊研修の実施

主な成果

- ・公共関連宿泊施設の宿泊者数 15,028人(H27) → 15,278人(H30.2月末現在)
- ・民泊受入世帯数の増加 82世帯(H28) → 83世帯(H30.2月末現在)
- ・教育旅行の受け入れ 5件164人(H28) → 9件275人(H29)

今後の方向性

- ・教育旅行のさらなる誘致に向けた民泊家庭の拡大
- ・土佐れいほく博(仮称)の開催を通じた広域観光の推進



歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進 【佐川町】

まち歩きガイド・歴町観光の推進

＜NPO佐川くろがねの会、佐川町、(一社)さかわ観光協会＞

取り組みの内容

- ・観光ガイド勉強会の実施(英語対応、佐川の偉人、牧野公園)
- ・まち歩き音声ガイドマップや牧野公園パンフレットの作成による上町周遊の魅力向上
- ・青山文庫ホームページの作成

主な成果

- ・上町地区への入込客数 22,023人(H28) → 23,945人(H30.2月末現在)
- ・上町まち歩きガイド利用者数 4,321人(H28) → 4,572人(H30.2月末現在)

今後の方向性

- ・さらなる誘客に向けて、さかわ観光協会を中心に関係機関・団体や住民が一体となった「チーム佐川」でのおもてなしの体制づくり



その他の特徴的な展開

地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進 【奈半利町】

イチジク、金目鯛等の加工品

＜奈半利町、NCL48、漁協女性グループ、(一社)なはりの郷＞

取り組みの内容

- ・加工施設のオープン(H28.5月) 農水産加工:奈半利のおかって 水産加工:加領郷魚舎(なや)
- ・イベント出店等による販促活動
- ・新商品の開発



主な成果

- ・奈半利のおかって売上高 11,917千円(H28) → 15,320千円(H30.1月末現在)
- ・加領郷魚舎売上高 24,634千円(H28) → 29,185千円(H30.1月末現在)

今後の方向性

- ・ふるさと納税返礼品等の需要に対応するための生産体制の強化、後継者の育成
- ・商談会を活用した販路開拓
- ・奈半利町通販サイトを活用した販路の拡大

日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化

【高知市】

街路市

＜出店者4組合、高知市等＞

取り組みの内容

- ・新規出店者の拡大に向けた出店基準の緩和(グループ出店等)
- ・日曜市の食材を活用した飲食店との連携
- ・フェイスブックによる日曜市広告動画の配信

今後の方向性

- ・様々な媒体の活用やPR活動による日曜市の魅力の発信
- ・新規出店者のさらなる拡大

主な成果

- ・新規出店者数 37件(H28~29累計)
- ・うち 基準緩和(手作り食品及び工芸品等製造者)による出店者 12件(H28~29累計)



土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化【香美市】

えびす商店街の活性化

＜香美市商工会、えびす街協同組合、香美市、地域活動団体＞

取り組みの内容

- ・ふらっと中町でチャレンジショップの運営
- ・ふらっと中町にこども食堂の開設
- ・集客イベントの開催
- ・チャレンジショップへの飲食ブースの新設

今後の方向性

- ・飲食ブースのPR等積極的な情報発信によるチャレンジャーの獲得
- ・ふらっと中町の活用策の検討



主な成果

- ・空き店舗を活用した新規開業 2件(H28) → 5件(H29)

嶺北地域の連携による移住促進の取組

【嶺北地域全域】

移住の取組

＜NPO法人れいほく 田舎暮らしネットワーク 等＞

取り組みの内容

- ・土佐町webサイト「とさちようものがたり」による地域情報の発信
- ・お山のでづくり市の開催
- ・移住者交流会の開催
- ・県外の移住相談会への参加
- ・チャレンジショップ事業の実施

今後の方向性

- ・PR、情報発信の強化
- ・空き家の確保
- ・移住相談員向け研修の実施



主な成果

- ・移住者数 45件 63人(H29.1月末現在) → 55件 67人(H30.1月末現在)

四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築事業

【四万十市】

四万十食材等の加工

＜しまんと百笑かんぱに(株)、四万十市地域商品研究会＞

取り組みの内容

- ・新加工施設の整備(H30.3月)
- ・自社商品の開発及びブラッシュアップ
- ・展示会や商談会への出展
- ・県版HACCP(第2ステージ)認証の取得
- ・台湾での高知県フェアの開催
- ・人材育成セミナーの実施

今後の方向性

- ・加工施設の安定稼働
- ・さらなる販路の拡大
- ・地域商社としての機能強化



主な成果

- ・売上高 30,720千円(H27) → 44,594千円(H30.2月末現在)

地域産品を活用した加工食品の開発販売・流通システム構築推進事業【土佐清水市】

幡多地域のアンテナ店との取引拡大

＜土佐清水沸騰社中、土佐清水市他＞

取り組みの内容

- ・物流会社と連携したチャーター便の試験利用
- ・首都圏等の新規店舗(4店)と取引開始

今後の方向性

- ・流通システムの構築による輸送コストの削減
- ・地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進



主な成果

- ・幡多地域アンテナ店との取引事業者 21事業者(H28) → 23事業者(H29)

完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用

完全天日塩

＜田野町＞

取り組みの内容

- ・研修用製塩施設及び附帯設備の整備
- ・完全天日塩職人の養成研修の開始
- ・製塩体験の受入

主な成果

- ・製塩研修生の受入 2名(H29)

今後の方向性

- ・塩職人希望者の育成及び独立後の環境整備
- ・完全天日塩の生産量の増加
- ・体験施設・研修施設のPRの強化



天日海塩を活用したビジネス推進事業

天日海塩

＜(有)ソルティープ＞

取り組みの内容

- ・天日海塩を活用した新商品の開発、販売
- ・他の事業者とコラボした商品の開発(3社3品)
- ・県外事業者による産地視察対応

主な成果

- ・売上高 14,310千円(H28) → 18,652千円(H29)
- ・塩づくり体験の受入れ 247人(H27) → 325人(H29)

今後の方向性

- ・新設備の導入などによる、作業の効率化
- ・県内外事業者等への天日海塩の活用促進
- ・塩づくり体験への誘客促進



地域アクションプランの平成30年度の展開

1 地域アクションプランの動向

H29年度 241 → H30年度 236 (▲5)

地 域	H29年度 (第3期ver.2)	H30年度 (第3期ver.3)				
	AP数 H29.9.19時点	追 加	削 除	統 合	小 計	AP数
安 芸	32	0	0	(2→1) ▲ 1	▲ 1	31
物部川	27	0	▲ 1	0	▲ 1	26
高知市	30	0	0	0	0	30
嶺 北	23	1	0	0	1	24
仁淀川	38	0	▲ 1	0	▲ 1	37
高 幡	43	0	▲ 2	0	▲ 2	41
幡 多	48	1	▲ 2	0	▲ 1	47
合 計	241	2	▲ 6	▲ 1	▲ 5	236

※ 削除6件のうち、自立:2件
産業成長戦略として実施:2件

2 地域アクションプランの追加項目

NO.	地域	地域アクションプラン名	事業概要	主な取組内容	H31目標
1	嶺北	嶺北地域で140年間続く酒蔵の地産外商を核とした地域活性化 (土佐町) 【事業主体】 土佐酒造(株)	地元産の酒米にこだわった特徴ある日本酒を安定供給し、国内外への販路を拡大するために、新工場(酒蔵)及び原料米の貯蔵・処理施設を整備し、品質向上に取り組むことによって、地産外商による農業、経済及び地域社会の活性化を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・製造能力及び貯蔵能力の拡大 ・地元産原料米の調達拡大 ・原料米貯蔵・処理施設の整備 ・雇用の創出及び経済活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高 160,000千円 ・地元産原料米調達量 95t ・従業者数 16人
2	幡多	集落活動センターによる地域の産業振興 (三原村) 【事業主体】 三原村集落活動センター、農事組合法人三原やまびこ	特産品の販売や交流人口の拡大、1次産業の振興等に地域で一体となって総合的に取り組み、地域の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・販売促進 ・交流人口の拡大 ・1次産業の振興 	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高 21,000千円 ・体験プログラム利用者数 50人

3 地域アクションプランの削除項目

NO.	地域	地域アクションプラン名	削除理由
1	物部川	No.4 エメラルドメロンの販売力向上対策(香南市) 【事業主体】JA土佐香美	エメラルドメロンは市場で高い評価をいただいております。販売額も目標をほぼ達成するなど成果を得られています。今後、取り組むべき生産量の拡大に関しては、産業成長戦略の位置づけのもとに支援を継続する。
2	仁淀川	No.6 加工用土佐文旦の販売促進(土佐市) 【事業主体】JAとさし、土佐文旦加工組合、菊水酒造(株)	JAとさしと菊水酒造(株)との加工用規格外品の取引がH29年度末で終了する見込みであることや、土佐文旦加工組合の加工品生産再開の見通しも立っていないことなどから、地域アクションプランから削除する。 なお、土佐文旦の加工については、今後も全県的な支援を継続する。
3	高幡	No.41 四万十町大正地区の地域経済活性化の核となる事業への取組(四万十町) 【事業主体】(株)デベロップ大正、四万十町商工会大正支所、四万十町	採算性等により、拠点施設の整備を断念することとなり、また、あわせて事業主体である「(株)デベロップ大正」が解散するなど、計画していた事業展開が見込まれないことから、地域アクションプランから削除する。
4	高幡	No.42 しまんと時間満喫プロジェクト(四万十町) 【事業主体】(株)生田組	四万十ならではの食と癒しの時間を提供できる宿泊施設を整備し、観光振興及び地域経済の活性化に繋げることを目的に協議調整を進めてきた。 しかし、地域食材の提供など、当初計画していた地域と連携した事業展開が見込まれないことから、地域アクションプランから削除する。
5	幡多	No.10 レストランチェーンと連携した地域水産物の流通・加工体制の推進事業(宿毛市) 【事業主体】(株)ピアーサーティー	順調に売上高を伸ばしており、計画を上回る売上を達成している。自社の飲食店を中心にした一次加工による水産物の出荷は、今後も着実に売上が伸びていくことが見込まれており、地域アクションプランとしてのサポートも必要なくなったことから、自立プランに位置付ける。
6	幡多	No.32 苺を核とした6次産業化確立事業(大月町) 【事業主体】農業生産法人 苺氷り本舗(株)	「苺氷り」の販路が拡大したことや、取引先との繋がりによってお茶などを原料としたOEM商品の製造が増えたことなどにより経営が安定し、地域アクションプランとしてのサポートも必要なくなったことから、自立プランに位置付ける。